

検査説明書

本説明書は当院で行っている主な血液検査項目について一般的な解説がしてあります。血液検査を行うことで、身体の状態を把握し、病気の診断や進行状況・薬の効き具合を診ることが出来ます。しかし、基準値範囲を外れているからといって、必ずしも異常とは限りません。検査結果については、ご自身で判断せず担当医にご相談下さいますようお願い申し上げます。



2022年度版

項目名			基準値	単位	検査の説明
肝機能	AST	アスパラギン酸 アミトランスフェラーゼ	13-33	U/L	肝臓の働きをみるための検査です。肝臓は代謝の中心的臓器であり、栄養分の代謝・合成・貯蔵と分解産物やアルコールなどの解毒作用を行っています。肝臓の病気では、検査項目の組み合わせによって、障害の診断や病状の把握ができます。LDHは採血時・採血後の検査で赤血球が壊されてしまい、高値となることもあります。
	ALT	アラニンアミ トランスフェラーゼ	8-42	U/L	
	LDH	乳酸脱水素酵素	119-229	U/L	
	ALP	アルカリ フォスファターゼ	38-113 ※R3.4月より変更	U/L	
	LAP	ロイシンアミ ペプチダーゼ	30-60	U/L	
	γ-GT	ガンマグルタ ルトランスぺプチダーゼ	10-47	U/L	
	ChE	コリンエステラーゼ	168-470	U/L	
	T-BIL	総ビリルビン	0.2-1.3	mg/dL	
	D-BIL	直接ビリルビン	0.0-0.4	mg/dL	
	アンモニア		30-86	μg/dL	
蛋白	TP	総蛋白	6.7-8.3	g/dL	血液中の蛋白の総量(アルブミン+グロブリン)を表し、栄養状態や肝臓・腎臓の機能をみています。
	ALB	アルブミン	4.0-5.0	g/dL	肝臓で作られ全身の栄養状態の指標となる蛋白質です。
	CRP	C反応性蛋白	0.00-0.30	mg/dL	身体に炎症があると上昇し、炎症が治まると速やかに低下します。
腎機能	BUN	尿素窒素	8-22	mg/dL	腎臓の働きをみるための検査です。腎臓は身体に不要な老廃物を排泄し、電解質の量などを一定に保つ働きをしています。血圧の調節とも関係があります。尿酸は痛風の指標にもなります。
	CREA	クレアチニン	男 0.61-1.04 女 0.47-0.79	mg/dL	
	UA	尿酸	男 3.4-7.8 女 2.4-5.6	mg/dL	
	Na	ナトリウム	138-146	mEq/L	
	K	カリウム	3.6-4.9	mEq/L	
	Cl	クロール	99-109	mEq/L	
	Ca	カルシウム	8.7-10.3	mg/dL	
	IP	無機リン	2.5-4.5	mg/dL	
	Mg	マグネシウム	1.8-2.4	mg/dL	
脂質	T-Chol	総コレステロール	128-220	mg/dL	コレステロールは細胞にとって重要な物質で、血管の強化・維持に重要な役割を果たしています。HDLは善玉コレステロールとも呼ばれ、LDLは悪玉コレステロールとも呼ばれています。TCだけでなくHDLとLDLのバランスが重要です。また、TGは食事の影響を受けます。
	TG	中性脂肪	30-150	mg/dL	
	HDL-Chol	HDLコレステロール	41-96	mg/dL	
	LDL-Chol	LDLコレステロール	65-139	mg/dL	
糖代謝	血糖		70-109	mg/dL	糖尿病の診断や糖のコントロール状態を把握するための検査です。血糖値は食事の影響を受けます。HbA1cは1~2ヶ月前の血糖値の状態を反映し、今後の治療の指標となります。
	HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.6-6.2	%	

項目名			基準値	単位	検査の説明
ホルモン	TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35-4.94	μ IU/mL	人の身体はホルモンの働きによってバランスが保たれています。内分泌器官はホルモンを分泌する重要な器官として働いており、ホルモンの量や働きを検査することで病気の診断や治療に役立ちます。
	FT3	遊離トリヨードサイロニン	1.88-3.18	pg/mL	
	FT4	遊離サイロキシニン	0.70-1.48	ng/dL	
マ―腫瘍―	AFP	α -フェトプロテイン	10.0以下	ng/mL	主に腫瘍がある場合に上昇します。しかし、腫瘍以外の病変でも上昇する場合があります。他の検査と組み合わせて総合的に診断します。治療効果の判定にも用います。
	CEA		5.0以下	ng/mL	
	CA19-9		37以下	U/mL	
	CA15-3		31以下	U/mL	
鉄分	Fe	鉄	80-200	μ g/dL	低値の場合、貧血の原因となります。性差(女性は低い)や日内変動(夕方は低い)があります。
	フェリチン		男 22-275 女 5-204	ng/dL	主に鉄の貯蔵および血清鉄の維持を行う蛋白です。
膵臓	AMY	アミラーゼ	37-125	U/L	膵臓の外分泌機能をみるための検査です。
心機能	CK	クレアチニンキナーゼ	男 60-287 女 45-163	U/L	心臓や骨格筋などの損傷の程度を反映します。筋肉疾患や心筋梗塞などがあると上昇します。
	CK-MB	CK-MB分画	7-17	U/L	心筋梗塞や心筋炎で上昇します。
	BNP	脳性Na利尿ペプチド	18.4以下	pg/mL	心臓疾患、特に心不全で上昇します。
血液検査	WBC	白血球数	3.6-8.4	10 ³ /μ L	血液疾患や血液に異常をきたす病気を診断したり、治療効果の判定に役立つ検査です。血液の細胞成分には白血球・赤血球・血小板があります。赤血球数やヘモグロビン濃度は、貧血やその種類の判定に役立ちます。白血球数は、感染症の診断や治療効果の判定に役立ちます。血小板数は、出血の際の止血機構に重要な働きをします。
	RBC	赤血球数	男 4.4-5.8 女 3.9-5.1	10 ⁶ /μ L	
	Hb	ヘモグロビン濃度	男 13-17 女 11-15	g/dL	
	Ht	ヘマトクリット値	男 41-52 女 35-46	%	
	MCV	平均赤血球容積	男 84-100 女 84-99	fL	
	MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	男 27-33 女 26-33	pg	
	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	男 31-35 女 30-34	g/dL	
	PLT	血小板数	140-330	10 ³ /μ L	
	RET	網状赤血球数	5-15		生まれたての若い赤血球で、赤血球の産生能を示します。
	赤沈	赤血球沈降速度	男 2-10 女 3-15		炎症があると亢進します。
凝固検査	PT活性値	プロトロンビン時間	70以上	%	血液を固めるためには、血小板以外に凝固因子と呼ばれる蛋白質があり、その働きをみる検査です。これらの検査は、血栓症や出血傾向などの診断と治療に役立ちます。PT-INRはワーファリンの効果を判定するためにも利用されています。
	PT-INR	国際標準化比	0.90-1.10		
	APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	24-38	秒	
	FIB	フィブリノーゲン濃度	190-310	mg/dL	
	FDP	フィブリン分解産物	5.0未満	μ g/mL	
	Dダイマー		1.0未満	μ g/mL	
	AT3	アンチトロンビンⅢ	80-130	%	

※基準値は施設によって異なることがあります。